

平成 23 年度
第 2 回 区民モニター報告書
「魅力と活力あるまちづくりと
健康福祉の推進について」



平成 2 4 年 3 月実施

大阪市此花区役所総務課（総合企画）

も く じ

【Ⅰ】調査の概要

- 1 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 調査の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 区民モニターの定数および回答者数・・・・・・・・・・・・ 1

【Ⅱ】調査結果について

- 1 区内で開催されている各種催しや地域活動などの事業に参加したことがありますか。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 次の事業のうち、積極的に参加したいと思うものはどれですか。
(複数選択可)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 あなたは、此花区が魅力的なまちだと思いますか。・・・・・・・・ 6
- 4 <問3で「1. 思う」と回答をされた方にお聞きします。>
区民協働による取組みのうち、魅力的だと思える資源はどれですか。
(複数選択可)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 5 環境問題への関心やまちを美しくする意識はありますか。・・・・ 8
- 6 環境に配慮した取組みで、具体的に実践していること(実践したいこと)は次のうちどれですか。(複数選択可)・・・・・・・・ 9
- 7 あなたは現在、子育て中または子育て支援活動をしていますか。・・・・ 11
- 8 <問7で「4. 特にしていない」以外の回答をされた方、全員にお聞きします。>
子育てに関する情報を日常的にどのような方法で入手していますか。
(複数選択可)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 9 <問7で「4. 特にしていない」以外の回答をされた方、全員にお聞きします。>
あなたは日頃、どのような子育て世代の交流の場を利用していますか。
(複数選択可)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 10 地域における福祉に関心がありますか。・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 11 福祉に関して、地域で話し合いや取組みが行われていると思いますか。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 12 あなたは、ご自身の健康管理に気をつけていますか。・・・・ 18
- 13 あなたは、ご自身の健康状態を主にどのような方法で把握していますか。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 14 健康づくりのために、具体的に取組んでいる(心がけている)ことは何ですか。(複数選択可)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

15 区民の意見等が区政に反映されていると思いますか。……………22

16 <問15で「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答した方のみ
お答えください。>

なぜ区民の意見等が反映されていないと思うか、具体的に
ご記入ください。……………24

「魅力と活力あるまちづくりと健康福祉の推進についてのアンケート」……………28

【I】調査の概要

1 調査の目的

此花区では、区民協働による魅力と活力あるまちづくりや子どもから高齢者までいきいきと暮らせる健康福祉の推進をめざしています。そのため、平成24年度に向けましては、区運営方針として具体的な取組みを行っていく予定です。

そこで、今回、区政の取組みが本当に成果をあげているのかを検証するための材料として、まず現時点での区民意識の現況などを数値的に把握するために、アンケート調査を実施し、今後の魅力と活力あるまちづくりや健康福祉の推進のための基礎資料として活用していきます。

2 調査の実施状況

調査期間：平成24年3月9日～平成24年3月23日

方 法：郵送及び電子申請アンケートシステム

対 象：区政モニター登録者（210名）

回 答 数：152票（なお、各質問の有効回答をn=152と表記する）

回 答 率：72.4%

3 区民モニターの定数および回答者数

		区民モニターの数			回答者数		
		男	女	計	男	女	計
計		106	104	210	72	80	152
年齢別	29歳以下	8	14	22	3	9	12
	30歳代	22	35	57	13	27	40
	40歳代	22	21	43	14	17	31
	50歳代	17	15	32	13	11	24
	60歳代	25	9	34	19	8	27
	70歳以上	12	10	22	10	8	18

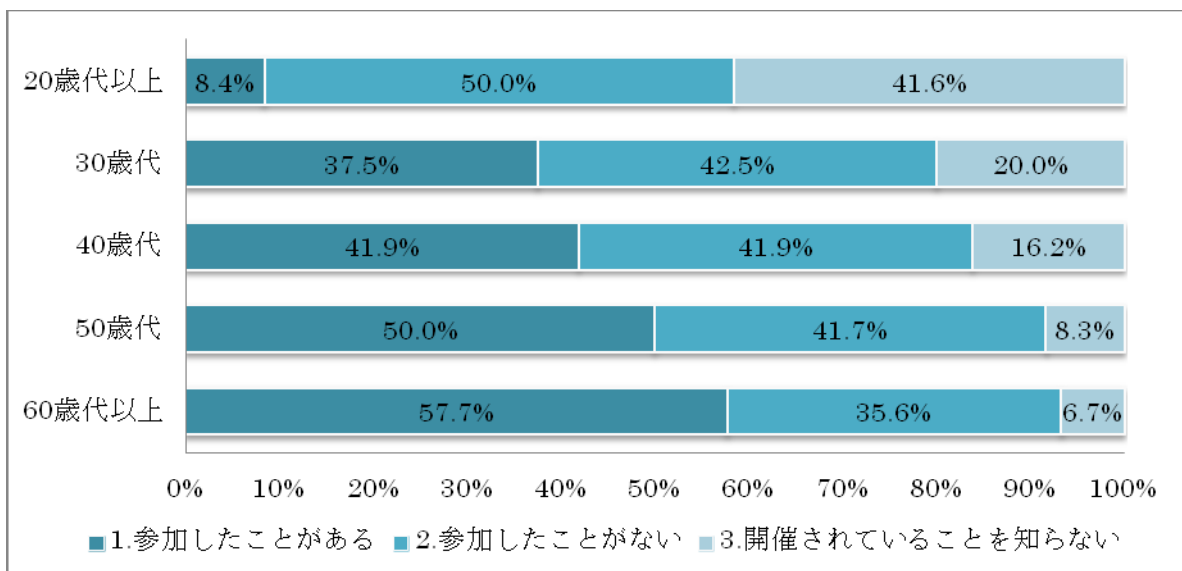
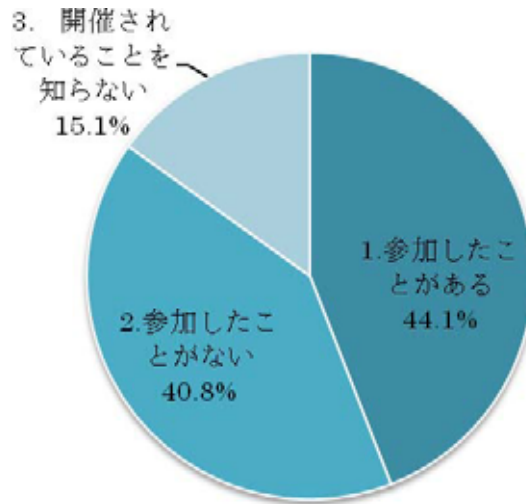
参考：各設問のnについては、回答対象者、【 】については回答数です。

【Ⅱ】 調査結果について

問1 区内で開催されている各種催しや地域活動などの事業に参加したことがありますか。

1、参加したことがある	44.1%	【67】
2、参加したことがない	40.8%	【62】
3、開催されていることを知らない	15.1%	【23】

n = 152



【分析・コメント】

「参加したことがある」(44.1%)と回答された方が一番高い割合を占めた一方で、「参加したことがない」(40.8%)と回答された方も4割以上おられ、「開催されていることを知らない」(115.1%)と回答された方と合わせると5割以上(55.9%)を占めています。

年齢層毎に回答状況を見ると、60歳代以上のうち57.7%が「参加したことがある」と回答し、年齢層が低くなるにしたがって割合が低くなっています(20歳代以下(8.4%)、30歳代(37.5%)、40歳代(41.9%)、50歳代(50.0%)、60歳代以上(57.7%))。

逆に、20歳代以下のうち、50%が「参加したことがない」と回答し、年齢層が高くなるにしたがって割合が低くなる傾向を示しています(20歳代以下(50.0%)、30歳代(42.5%)、40歳代(41.9%)、50歳代(41.7%)、60歳代以上(35.6%))。

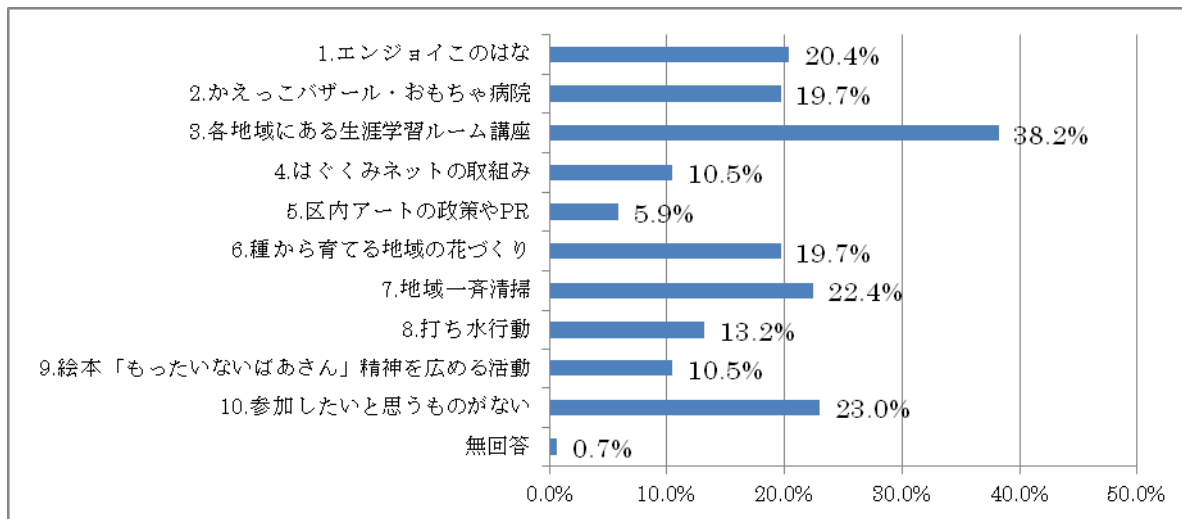
また、20歳代以下では、「開催されていることを知らない」と回答した割合が多く(41.6%)、他の年齢層よりも2倍以上となっています(20歳代以下(41.6%)、30歳代(20.0%)、40歳代(16.2%)、50歳代(8.3%)、60歳代以上(6.7%))。

この結果から、今後、若い世代の参加意欲を向上させる事業内容や参加率を高める広報のあり方について検討を要することがわかりました。

問2 次の事業のうち、積極的に参加したいと思うものはどれですか。(複数選択可)

1、エンジョイこのはな	20.4%	【31】
2、かえっこバザール・おもちゃ病院	19.7%	【30】
3、各地域にある生涯学習ルーム講座	38.2%	【58】
4、はぐくみネットの取組み	10.5%	【16】
5、区内アートの制作やPR	5.9%	【9】
6、種から育てる地域の花づくり	19.7%	【30】
7、地域一斉清掃	22.4%	【34】
8、打ち水行動	13.2%	【20】
9、絵本「もったいないばあさん」精神を広める活動	10.5%	【16】
10、参加したいと思うものがない	23.0%	【35】
無回答	0.7%	【1】

n = 152



【分析・コメント】

積極的に参加したいと思う事業で最も高い割合を占めたのは、「各地域にある生涯学習ルーム講座」(38.2%)で、次いで「地域一斉清掃」(22.4%)、「エンジョイこのはな」(20.4%)、「かえっこバザール・おもちゃ病院」(19.7%)、「種から育てる地域の花づくり」(19.7%)という結果になっています。また、「参加したいと思うものがない」(23.0%)と回答された方も2割以上を占めています。

年齢層毎に積極的に参加したい事業についてみると、20歳代以下は、「かえっこバザール・おもちゃ病院」(25.0%)に、30歳代では、「かえっこバザール・おもちゃ病院」(32.5%)、「各地域にある生涯学習ルーム講座」(27.5%)、「エンジョイこのはな」(25.0%)、「種から育てる地域の花づくり」(25.0%)に、40歳代では、「各地域にある生涯学習ルーム講座」(35.5%)、「かえっこバザール・おもちゃ病院」(25.8%)に、50歳代では、「各地域にある生涯学習ルーム講座」(37.5%)、「エンジョイこのはな」(25.0%)に、60歳代以上では、「各地域にある生涯学習ルーム講座」(55.6%)、「地域一斉清掃」(33.3%)、「打ち水行動」(28.9%)といった事業に関心が高い傾向がわかりました。

全体の上位5つの事業を年齢層毎の傾向でみると、「各地域にある生涯学習ルーム講座」は、30歳代から関心が高まり始め、年齢が上がるほど積極的に参加したいと思う傾向があり、特に60歳以上になると半数以上の方々が関心を持っており、継続的な取組みが望まれます。

「地域一斉清掃」は、40歳代以上の方々には関心が高いですが、20歳代以下や30歳代でも関心がないわけではないことがわかりました。

「エンジョイこのはな」は、30歳代以上の方々には比較的関心があります。

「かえっこバザール・おもちゃ病院」は、40歳代以下の方々には関心が高く、子育てを一定終了した50歳代以上には関心が低くなる傾向があります。

「種から育てる地域の花づくり」は、30歳代と50歳代以上に関心が高く、40歳代は関心が低い傾向となりました。一概に言えませんが、子どもが小さい間は関心が高く、子どもの成長と共に関心が薄れ、子どもが大きくなり手が離れると、再び関心が高まるのではとの仮説などが考えられます。

このように、事業によって関心の度合いが違っていることがわかりました。

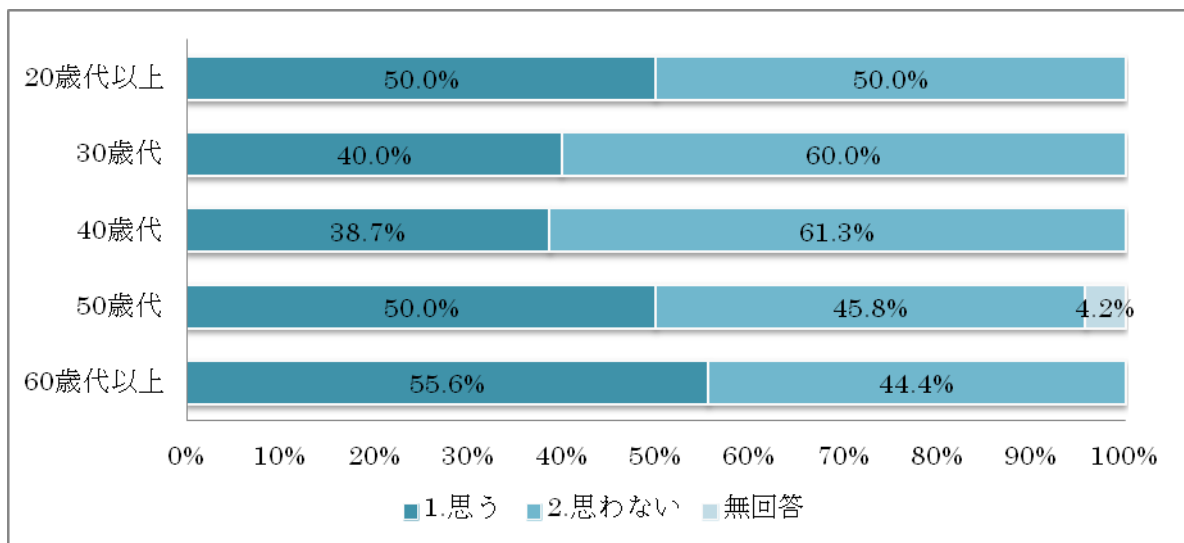
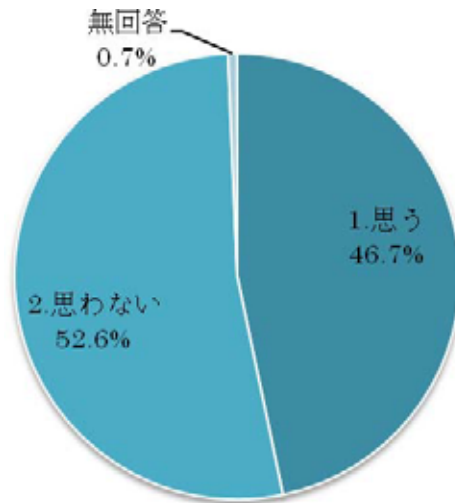
「参加したいと思うものがない」と回答された方について、年齢層毎の割合をみると、20歳代以下が50.0%と最も高く、年齢層が高くなるにしたがって割合が低くなっています（20歳代以下（50.0%）、30歳代（27.5%）、40歳代（25.8%）、50歳代（20.8%）、60歳代以上（11.1%））。

この結果から、若い世代の参加を促すために、親子で参加することができる事業の取組みや、若年層が参加してみたい事業のリサーチを積極的に行っていくことが必要であることがわかりました。

問3 あなたは、此花区が魅力的なまちだと思いますか。

1、思う	46.7%	【71】
2、思わない	52.6%	【80】
無回答	0.7%	【1】

n = 152



【分析・コメント】

「思わない」(52.6%)と回答された方が5割以上おられ、「思う」(43.6%)と回答された方の割合を上回っています。年齢層毎に「思わない」と回答された方をみると、40歳代の方の割合が最も高く(61.3%)、次いで30歳代の方の割合が高い(60.0%)ことがわかりました(20歳代以下(50.0%)、30歳代(60.0%)、40歳代(61.3%)、50歳代(45.8%)、60歳代以上(44.4%))。

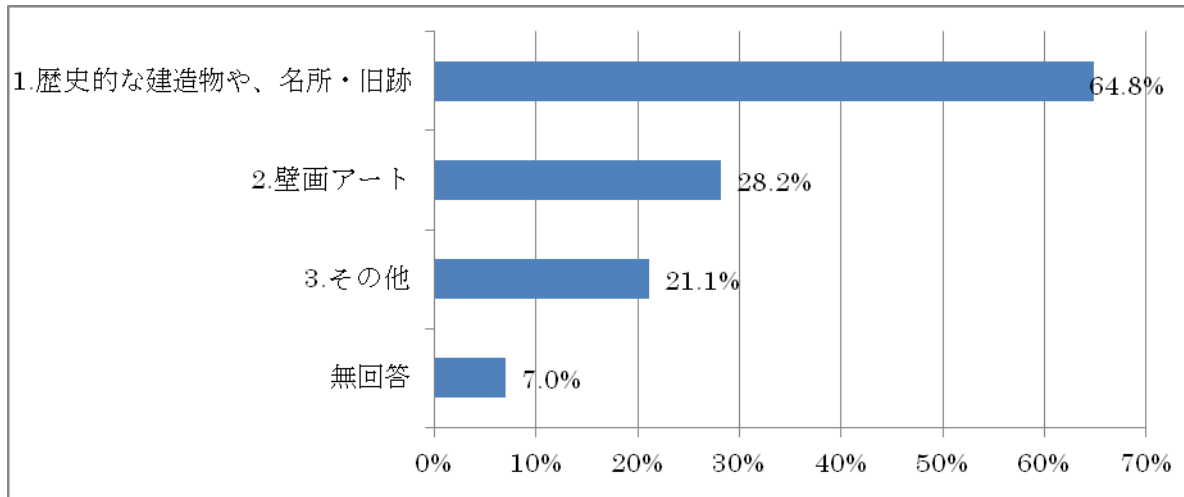
この結果から、今後、此花区が魅力的であることを広報や区民協働事業などを通じてさらにアピールしていく必要があります。特に、40歳代以下の若い年齢層の方が此花区を魅力的なまちだと思っていない割合が高いという結果を受けて、若い年齢層に対して重点的にアピールしていく必要があると考えます。

問4 (問3で「1. 思う」と回答をされた方にお聞きします)

区民協働による取組みのうち、魅力的だと思う資源はどれですか。(複数選択可)

1、歴史的な建造物や、名所・旧跡	64.8%	【46】
2、壁画アート	28.2%	【20】
3、その他(具体的に：)	21.1%	【15】
無回答	7.0%	【5】

n = 71



【分析・コメント】

問3で「思う」と回答された方のうち、魅力的だと思う資源として「歴史的な建造物や、名所・旧跡」と回答された方(64.8%)が6割以上おられ、「壁画アート」と回答された方(28.2%)は3割未満でした。

年齢層毎に区民協働による取組みのうち魅力的だと思う資源をみると、「歴史的な建造物や、名所・旧跡」と「壁画アート」について、それぞれ20歳代以下では、66.7%と33.3%、30歳代では、37.5%と37.5%、40歳代では、66.7%と33.3%、50歳代では、58.3%と16.7%、60歳代以上では、88.0%と24.0%となっており、30歳代を除くと、どの層でも「歴史的な建造物や、名所・旧跡」に魅力を感じる割合が半数を超え、特に60歳代以上では、9割近くの方々が魅力ある資源だと感じています。他方、30歳代では、他の年齢層と違う特徴として、「歴史的な建造物や、名所・旧跡」と「壁画アート」を同じように魅力的な資源と思っています。

このようなことから、「歴史的な建造物や、名所・旧跡」は幅広い年齢層を対象にしながら、継続した取組みが求められる一方、「壁画アート」は全体の底上げを図るためにも比較的関心の高い40歳代以下を対象に力を入れながら、「壁画アート」が区内の名所とってもらえるような魅力的な存在にしていけることが必要であると思われます。

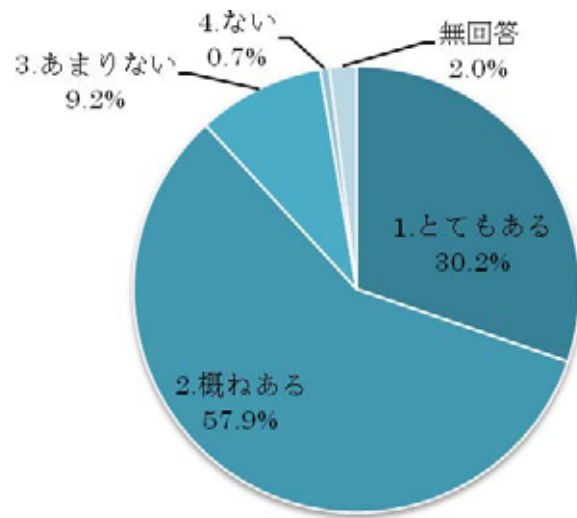
また、今回の調査では、区運営方針として具体的に取組んできている区民協働事業に関連した選択項目を設定しましたが、「その他」の意見もいただきました。「その他」と回答された方(21.1%)の具体的な記載内容は、「USJ」(3人)、「人の良さ」(3人)、「水辺の風景」(3人)、「舞洲」(2人)等でした。

以上の結果を参考に、区内外に此花区の魅力を効果的に発信していくための方策を検討していきたいと思えます。

問5 環境問題への関心やまちを美しくする意識はありますか。

1、とてもある	30.2%	【46】
2、概ねある	57.9%	【88】
3、あまりない	9.2%	【14】
4、ない	0.7%	【1】
無回答	2.0%	【3】

n = 152



【分析・コメント】

全体の6割近くの方が「概ねある」(57.9%)、次いで3割の方が「とてもある」(30.2%)と回答されており、両方合わせると88.1%と高い割合で関心の高さがうかがえます。

一方、「ない」(0.7%)と回答された方は1名のみでしたが、「あまりない」(9.2%)と回答された方は1割近くおられました。

環境問題は幅広い課題があり、テーマも様々ですが、今後、この関心の高さをどのように具体的な取組みに結び付けていくのかが求められます。

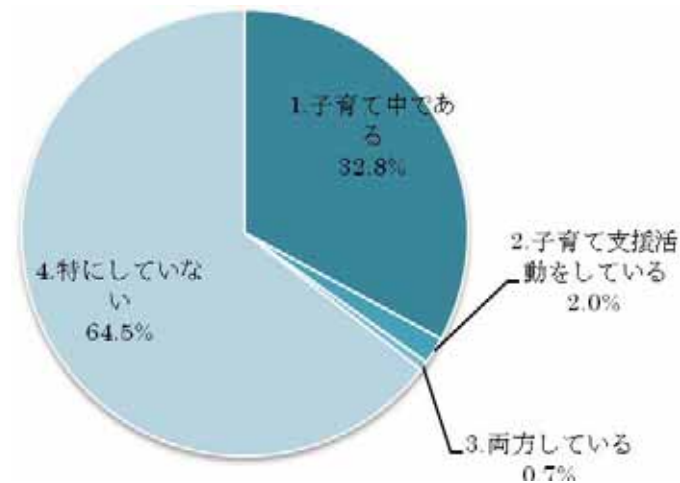
た。

問5で「とてもある」と回答された方について、問6で選択肢別にみると、「花などを育てる緑化活動」(58.7%)、「資源回収リサイクル」(54.3%)、「自宅周辺や地域の清掃活動」(43.5%)の順に多く、問6の全体の結果と違う傾向となっています。これは、「花などを育てる緑化活動」は、他の選択肢に比べて、より積極的な行動に結びつく可能性があることを示しているといえます。

問7 あなたは現在、子育て中または子育て支援活動をしていますか。

1、子育て中である	32.8%	【50】
2、子育て支援活動をしている	2.0%	【3】
3、両方している	0.7%	【1】
4、特にしていない	64.5%	【98】

n = 152



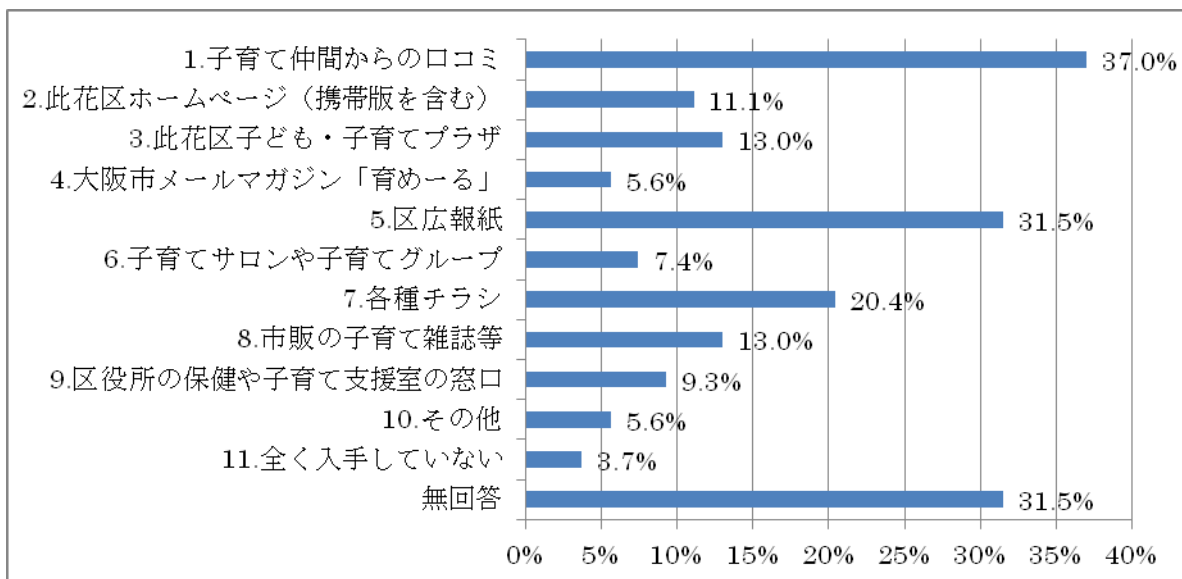
【分析・コメント】

ここでは、問8、問9の質問をするうえで対象を絞り込むための前段としての質問ですが、全体の約3割の方が「子育て中である」(32.8%)と回答されており、「子育て支援活動をしている」(2.0%)と回答された方の割合は、1割未満でした。一方、「特にしていない」(64.5%)と回答された方の割合は6割以上で、もっとも多いことがわかりました。

問8 (問7で「4. 特にしていない」以外の回答をされた方、全員にお聞きします)
子育てに関する情報を日常的にどのような方法で入手していますか。(複数選択可)

1、子育て仲間からの口コミ	37.0%	【20】
2、此花区ホームページ(携帯版を含む)	11.1%	【6】
3、此花区子ども・子育てプラザ	13.0%	【7】
4、大阪市メールマガジン「育める」	5.6%	【3】
5、区広報紙	31.5%	【17】
6、子育てサロンや子育てグループ	7.4%	【4】
7、各種チラシ	20.4%	【11】
8、市販の子育て雑誌等	13.0%	【7】
9、区役所の保健や子育て支援室の窓口	9.3%	【5】
10、その他(具体的に：)	5.6%	【3】
11、全く入手していない	3.7%	【2】
無回答	31.5%	【17】

n = 54



【分析・コメント】

問7で「子育て中である」・「子育て支援活動をしている」・「両方している」と回答された方のうち、子育てに関する情報の入手方法として「子育て仲間からの口コミ」(37.0%)と回答された方が4割近くおられ、続いて「区広報紙」(31.5%)、「各種チラシ」(20.4%)の順になっています。

「子育て仲間からの口コミ」から得られる情報は身近で得られる利点がある反面、情報が伝わる範囲が限られ、広く子育て層全体に伝わらないという難点があります。

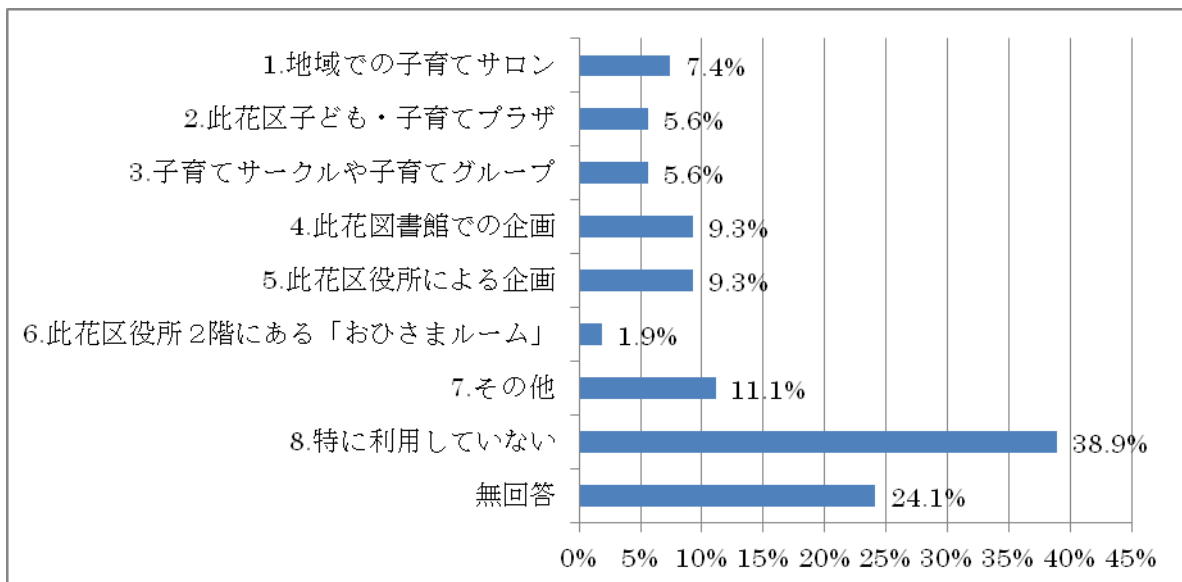
今後、「此花区子ども・子育てプラザ」や「区役所の保健や子育て支援室の窓口」といった子育て支援事業を積極的に活用してもらえようような広報の取組みや、「区ホームページ」や「大阪市メールマガジン「育める」」といった広報媒体を充実させて利用者を増やしていくことが必要と思われます。

また、子育て世代では、口コミが強力な情報源となっている点を踏まえて、子育て中の方々が孤立しないように仲間同士で情報交換できる環境づくりも必要であると言えます。

問9 (問7で「4. 特にしていない」以外の回答をされた方、全員にお聞きします)
 あなたは日頃、どのような子育て世代の交流の場を利用していますか。(複数選択可)

1、地域での子育てサロン	7.4%	【4】
2、此花区子ども・子育てプラザ	13.0%	【7】
3、子育てサークルや子育てグループ	5.6%	【3】
4、此花図書館での企画(子ども会、絵本の時間、お楽しみ会、読書会など)	9.3%	【5】
5、此花区役所による企画(子育て講座や「えほんの広場によっといで」など)	9.3%	【5】
6、此花区役所2階にある「おひさまルーム」	1.9%	【1】
7、その他(具体的に：)	11.1%	【6】
8、特に利用していない	38.9%	【21】
無回答	24.1%	【13】

n = 54



【分析・コメント】

問7で「子育て中である」・「子育て支援活動をしている」・「両方している」と回答された方のうち、子育て世代の交流の場として「此花区子ども・子育てプラザ」(13.0%)を利用していると回答された方が一番多く、次いで「その他」(11.1%)と回答された方が多くおられました。「その他」と回答された方の具体的な内容は、「市内各区の子ども向け企画」・「近所の方、家族、友人、知人」・「保育所の先生からの声かけ」でした。

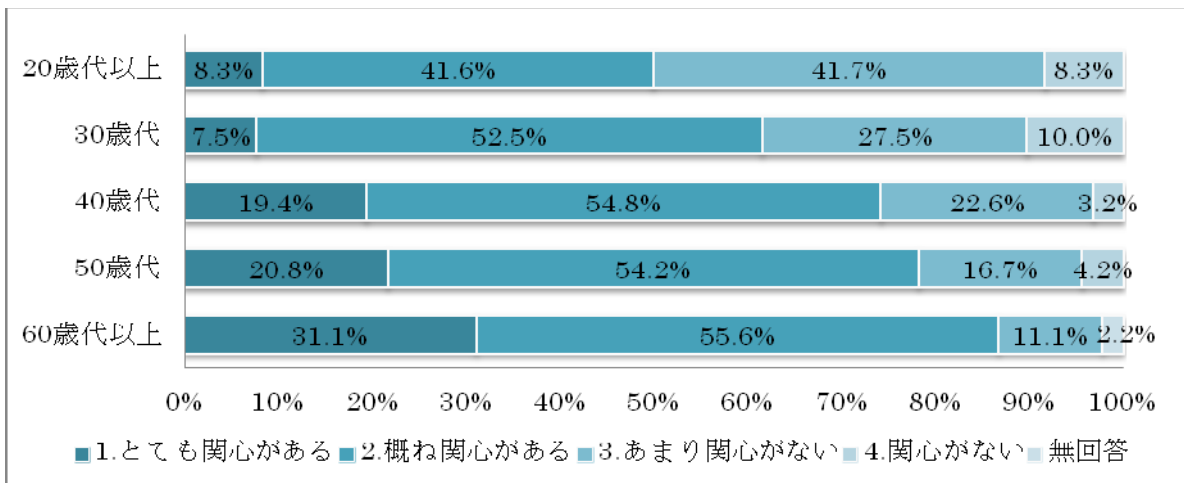
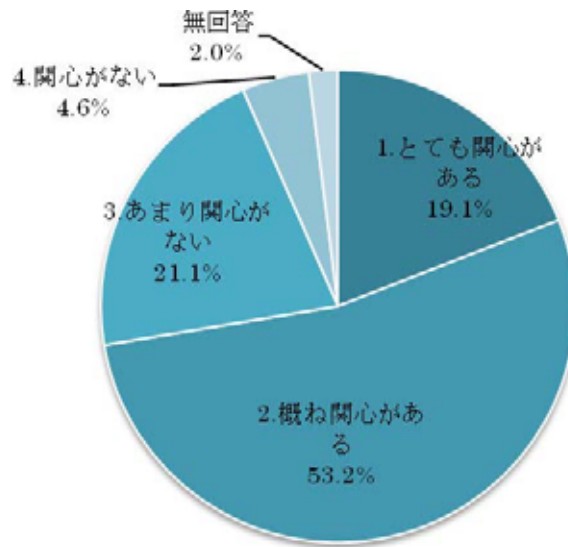
一方、「特に利用していない」(38.9%)と回答された方も4割近くおられました。

このことから、今後、子育て世代の方に利用してもらいやすい交流の場づくりや、あまり活用されていない拠点を周知していくなどの取組みが必要であることがわかりました。

問 10 地域における福祉に関心がありますか。

1、とても関心がある	19.1%	【29】
2、概ね関心がある	53.2%	【81】
3、あまり関心がない	21.1%	【32】
4、関心がない	4.6%	【7】
無回答	2.0%	【3】

n = 152



【分析・コメント】

地域における福祉について、全体の5割以上の方が「概ね関心がある」(53.2%)と回答されており、「とても関心がある」(19.1%)と合わせると、約7割(72.3%)の方が関心を持っていることがわかりました。

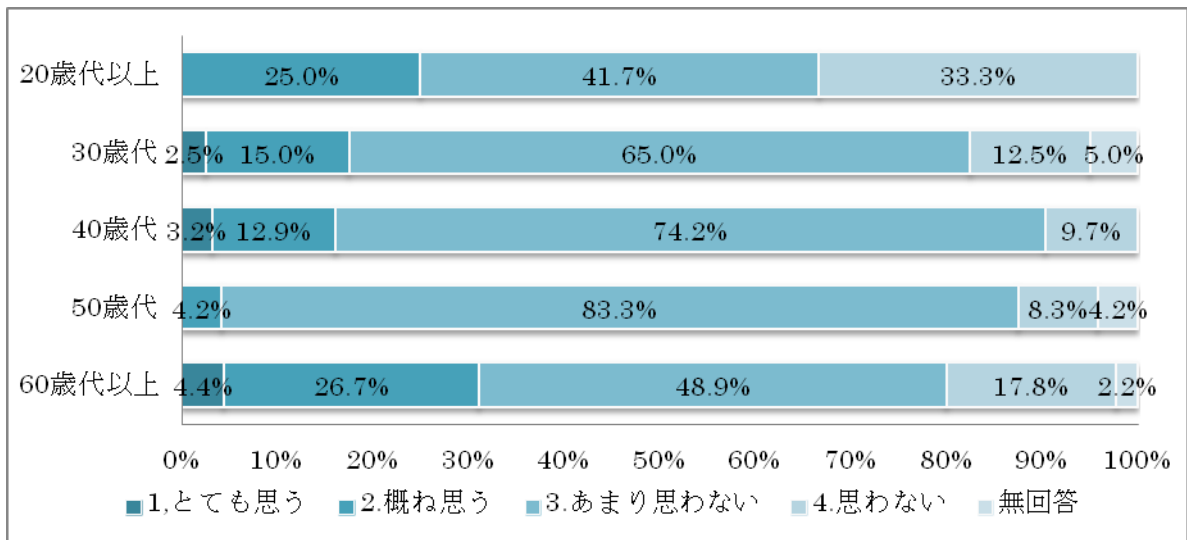
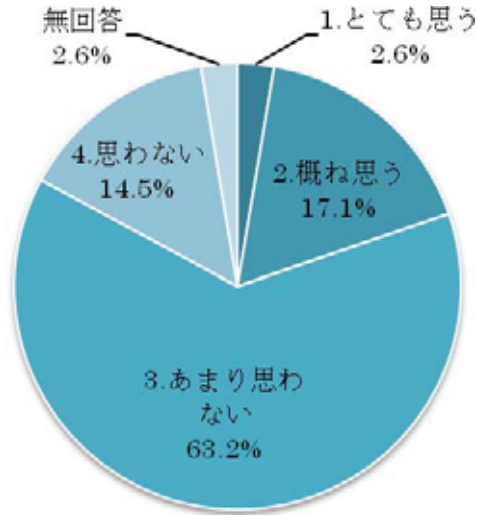
年齢層毎に地域福祉の関心度合いをみると、20歳代以下では、「とても関心がある」と「概ね関心がある」と回答された方は、合わせて49.9%(8.3%と41.6%)、30歳代では60.0%(7.5%と52.5%)、40歳代では74.2%(19.4%と54.8%)、50歳代では75.0%(20.8%と54.2%)、60歳代以上では86.7%(31.1%と55.6%)、また、「あまり関心がない」と「関心がない」と回答された方は合わせて、20歳代以下では50.0%(41.7%と8.3%)、30歳代では37.5%(27.5%と10.0%)、40歳代では25.8%(22.6%と3.2%)、50歳代では20.9%(16.7%と4.2%)、60歳代以上では11.1%(11.1%と0%)という結果になり、若い頃には関心が少ないが、年齢が上がるにつれて関心が高まっていく傾向がみてとれます。

福祉の課題は幅広いテーマがありますが、福祉ニーズに対応した取組みを検討していくことが求められます。

問 11 福祉に関して、地域で話し合いや取組みが行われていると思いますか。

1、とても思う	2.6%	【4】
2、概ね思う	17.1%	【26】
3、あまり思わない	63.2%	【96】
4、思わない	14.5%	【22】
無回答	2.6%	【4】

n = 152



【分析・コメント】

全体の6割以上の方が「あまり思わない」(63.2%)と回答されており、「思わない」(14.5%)と回答された方と合わせると、4人に3人以上(77.7%)が思っていない傾向があります。逆に、「とても思う」と「概ね思う」を合わせると、約2割(19.7%)にとどまっています。

年齢層毎にみると、20歳代以下では、「とても思う」と「概ね思う」を合わせると25.0%(0%と25.0%)、30歳代では17.5%(2.5%と15.0%)、40歳代では16.1%(3.2%と12.9%)、50歳代では4.2%(0%と4.2%)、60歳代以上では31.1%(4.4%と26.7%)、また、20歳代以下では、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると75.0%(41.7%と33.3%)、30歳代では77.5%(65.0%と12.5%)、40歳代では83.9%(74.2%と9.7%)、50歳代では91.6%(83.3%と8.3%)、60歳代以上では66.7%(48.9%と17.8%)という結果となり、年齢が上がるほどに話し合いや取組みがなされていないと感じるようになる傾向があります。

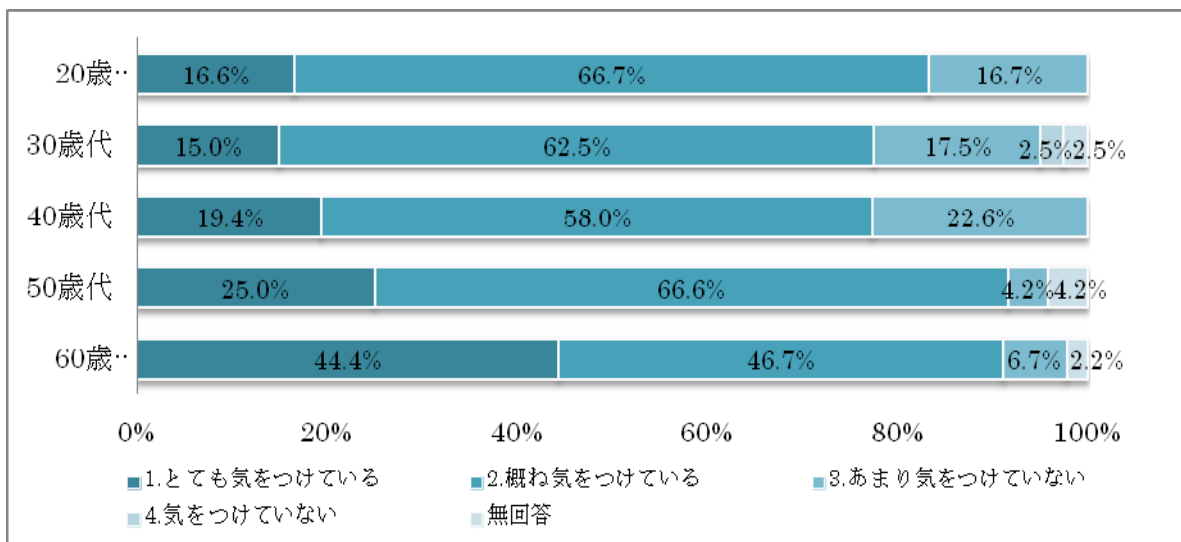
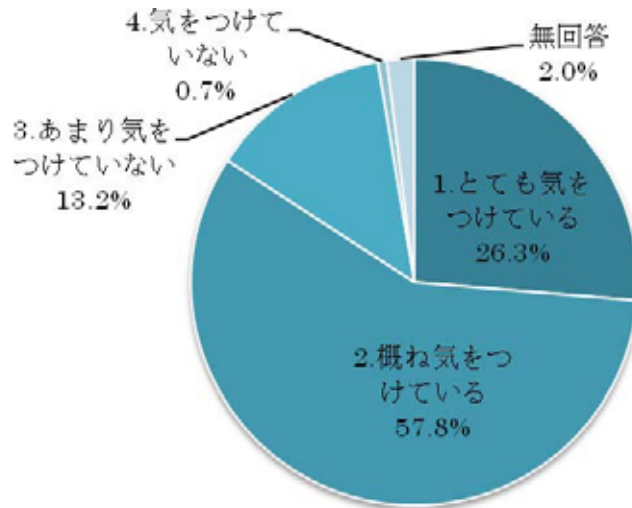
なお、60歳代以上の方よりもむしろ50歳代の方が地域での話し合いや取組みが行われているとは思っていない傾向が極めて高い結果となりました。

今後、福祉に関しては、地域福祉アクションプランの推進のため、地域での話し合いの場づくりなどにさらに取組んでいくことが望まれます。特に、40歳代から50歳代を対象に強化して取組む必要がありそうです。

問 12 あなたは、ご自身の健康管理に気をつけていますか。

1、とても気をつけている	26.3%	【40】
2、概ね気をつけている	57.8%	【88】
3、あまり気をつけていない	13.2%	【20】
4、気をつけていない	0.7%	【1】
無回答	2.0%	【3】

n = 152



【分析・コメント】

全体の 6 割近くの方が「概ね気をつけている」(57.8%)と回答されており、「とても気をつけている」(26.3%)と回答された方と合わせると、8 割以上(84.1%)がご自身の健康管理に気をつけている傾向があります。逆に、「あまり気をつけていない」(13.2%)と「気をつけていない」(0.7%)を合わせると、約 1 割程度(13.9%)にとどまっています。

年齢層毎にみても、20 歳代以下では、「とても気をつけている」と「概ね気をつけている」を合わせると 83.3%(16.6%と 66.7%)、30 歳代では 77.5%(15.0%と 62.5%)、40 歳代では 77.4%(19.4%と 58.0%)、50 歳代では 91.6%(25.0%と 66.6%)、60 歳代以上では 91.1%(44.4%と 46.7%)、また、20 歳代以下では、「あまり気をつけていない」と「気をつけていない」を合わせると 16.7%(16.7%と 0%)、30 歳代では 20%(17.5%と 2.5%)、40 歳代では 22.6%(22.6%と 0%)、50 歳代では 4.2%(4.2%と 0%)、60 歳代以上では 6.7%(6.7%と 0%)という結果となり、どの年齢層もご自身の健康管理に気をつけている割合が高く、年齢が上がるにつれて一層その傾向が顕著になっています。

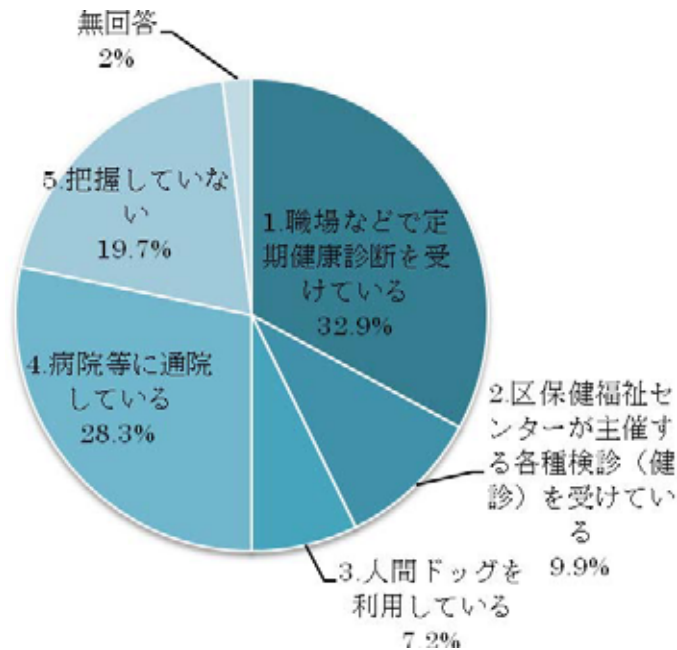
健康に関しては、全体的に関心の高さがうかがえますが、今後、「とても気をつけている」という区民の割合を増やしていくことが望まれます。

なお、30 歳代と 40 歳代の方の 5 人に 1 人が気をつけていないと回答されており、今後、これらの年齢層の方を中心に健康管理についての啓発を行う必要があると考えられます。

問 13 あなたは、ご自身の健康状態を主にどのような方法で把握していますか。

1、職場などで定期健康診断を受けている	32.9%	【50】
2、区保健福祉センターが主催する各種検診（健診）を受けている	9.9%	【15】
3、人間ドックを利用している	7.2%	【11】
4、病院等に通院している	28.3%	【43】
5、把握していない	19.7%	【30】
無回答	2.0%	【3】

n = 152



【分析・コメント】

ご自身の健康状態を把握するために最も有効だと考えている方法について、全体の3割以上の方が「職場などで定期健康診断を受けている」（32.9%）と回答されており、続いて3割近くの方が「病院等に通院している」（28.3%）と回答され、「区保健福祉センターが主催する各種検診（健診）を受けている」（9.9%）、「人間ドックを利用している」（7.2%）と回答された方はそれぞれ1割未満でした。

一方で、2割近くの方が「把握していない」と回答されています。

問12でご自身の健康管理に「とても気をつけている」と回答された方のうち、4割以上の方が「病院等に通院している」（42.5%）と回答されており、3割近くの方が「職場などで定期健康診断を受けている」（27.5%）と回答されています。

また、問12でご自身の健康管理に「概ね気をつけている」と回答された方のうち、4割近くの方が「職場などで定期健康診断を受けている」（36.3%）と回答されており、3割近くの方が「病院等に通院している」（27.3%）と回答されています。

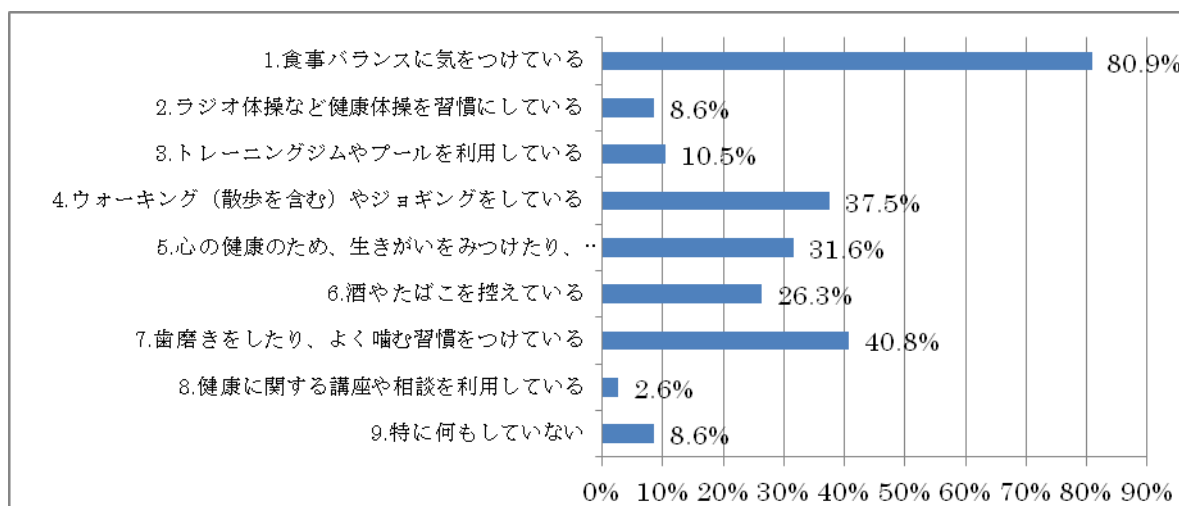
今後、職場などで定期健康診断を受けていなかったり、病院等に通院していない方々を対象として、いかに各種検診（健診）に結びつけたり、健康管理の意識を高めていくのかについての検

討が望まれます。

問 14 健康づくりのために、具体的に取り組んでいる（心がけている）ことは何ですか。（複数選択可）

1、食事バランスに気をつけている	80.9%	【123】
2、ラジオ体操など健康体操を習慣にしている	8.6%	【13】
3、トレーニングジムやプールを利用している	10.5%	【16】
4、ウォーキング（散歩を含む）やジョギングをしている	37.5%	【57】
5、心の健康のため、生きがいを見つけたり、人との交流を大切にしている	31.6%	【48】
6、酒やたばこを控えている	26.3%	【40】
7、歯磨きをしたり、よく噛む習慣をつけている	40.8%	【62】
8、健康に関する講座や相談を利用している	2.6%	【4】
9、特に何もしていない	8.6%	【13】

n = 152



【分析・コメント】

全体の8割以上の方が「食事バランスに気をつけている」（80.9%）と回答されており、食生活に対する関心度の高さがうかがえます。続いて4割以上の方が「歯磨きをしたり、よく噛む習慣をつけている」（40.8%）と回答され、3割以上の方が「ウォーキング（散歩を含む）やジョギングをしている」（37.5%）、「心の健康のため、生きがいを見つけたり、人との交流を大切にしている」（31.6%）と回答されています。

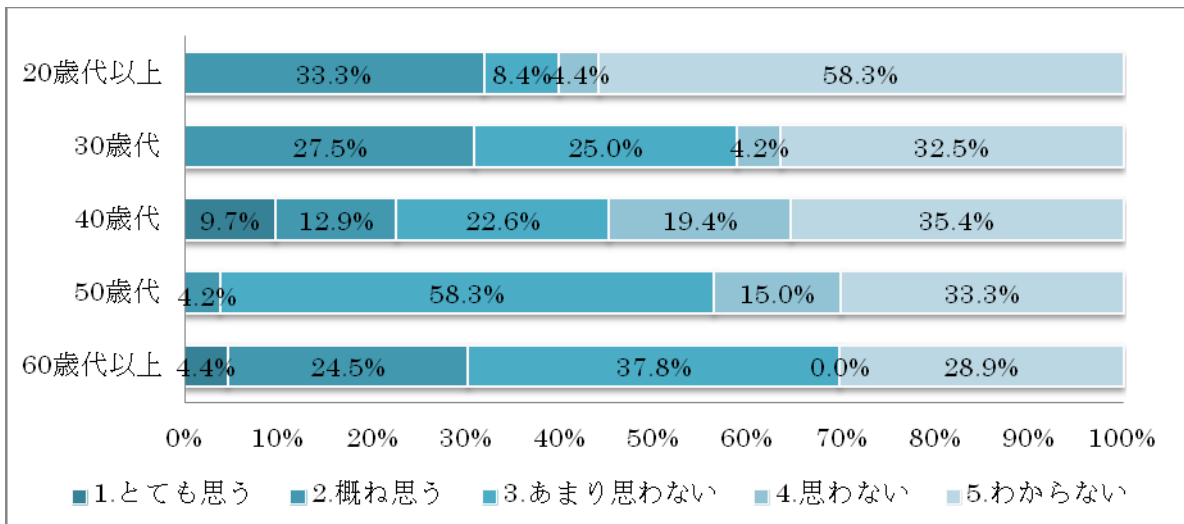
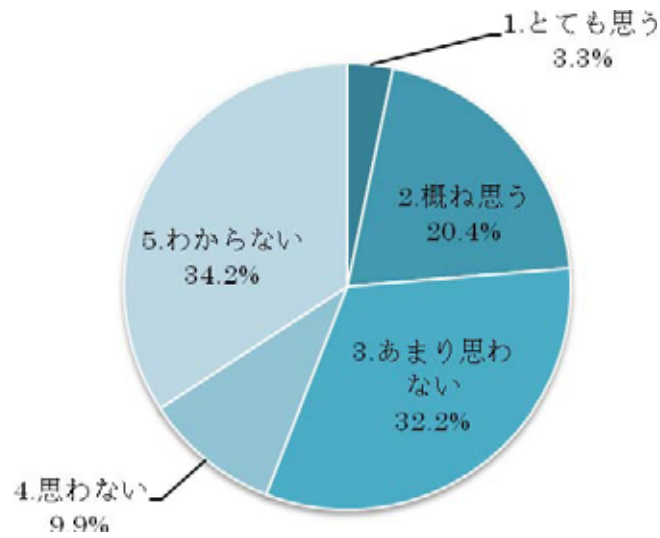
健康づくりのために具体的に取り組んでいる方の割合が高い傾向にある一方で、「特に何もしていない」（8.6%）と回答された方も1割近くおられます。

「特に何もしていない」と回答された方を年齢層毎にみると、20歳代以下では8.3%、30歳代では15.0%、40歳代では9.7%、50歳代では8.3%、60歳代以上では2.2%という結果となり、30歳代の方の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっており、今後、この年齢層に対して重点的に健康づくりの啓発を図る必要があると考えられます。

問 15 区民の意見等が区政に反映されていると思いますか。

1、とても思う	3.3%	【5】
2、概ね思う	20.4%	【31】
3、あまり思わない	32.2%	【49】
4、思わない	9.9%	【15】
5、わからない	34.2%	【52】

n = 152



【分析・コメント】

「とても思う」と「概ね思う」を合わせると、約 2 割以上の方 (23.7%) となりますが、逆に、「思わない」と「あまり思わない」を合わせると、約 4 割以上の方 (42.1%) となり、反映されていないとする方が多いことがわかります。

年齢層毎にみると、20 歳代以下では、「わからない」(58.3%)、「概ね思う」(33.3%)、30 歳代では、「わからない」(32.5%)、「概ね思う」(27.5%)、「あまり思わない」(25.0%)、40 歳代では、「わからない」(35.4%)、「あまり思わない」(22.6%)、「思わない」(19.4%)、50 歳代では、「あまり思わない」(58.3%)、「わからない」(33.3%)、60 歳代以上では、「あまり思わない」(37.8%)、「わからない」(28.9%)、「概ね思う」(24.5%) という結果になり、40 歳代以下では「わからない」とする割合が高く、年齢層が高くなるにつれて「あまり思わない」とする割合が高くなり、反映されていないと思う傾向があることがわかりました。

このことから、区民の意見等が区政に反映されていないとっておられる方を中心にその理由を具体的に調査することにより、今後の区の運営や事業改善に取り組む必要があると考えます。この点については、次の問 16 が参考になります。

問 16 (問 15 で「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答した方のみお答えください。) なぜ区民の意見等が反映されていないと思うか、具体的にご記入ください。

【分析・コメント】

問 15 で「あまり思わない」・「思わない」と回答された方に、具体的にご記入をお願いしたところ、次のようなご意見をいただきました。

- ・区の特徴があまりよくわからない
- ・若い人が少ないから
- ・＜個人的な意見として＞ここ数年の間、ぜいたくな事はしていないのに経済的に苦しくなる一方で、何度か相談にも行ったが、何も変わりはしなかった。家族で働けるのは自分1人です。
- ・グラウンドのまわりが暗く、夜歩きに行きづらい。車や自転車を気にせず、体を動かす場所がほしい。子どももボールを持って、走りまわれる場所をもっともっとふやしてほしい。
- ・聞いてこられない。意見をどこで言うのか分からない。
- ・橋下さんの独裁で正直困っています。今は、お年寄りや、母子家庭、此花区はもっともっと1人1人関わりを持っていきたい！最近 TVでの孤独死・・・胸がイタイです。
- ・生活保護を受けずに一生懸命働いている方達に目を向いておらず、ギャンブルに保護費を使っていたり、夜などアルバイトをしている生活保護者をほったらかしに見える。
- ・区民の意見は区民の希望として、此花区に市営地下鉄の建設を望みます。野田阪神より、大開・千鳥四貫島・島屋・USJ・桜島又は、ヨットハーバー・舞洲・夢洲です。出来れば、騒音、環(?)を調査の上、格安空港を作る事です。今、云われている伊丹空港を廃止して、その転売金で、関空に4～5千億もかけて、リニアカーを通すと云うのは、考えるべきだと思います。そのお金の一部で作れます。関空にリニアを通して赤字の解消は難しいと思います。
- ・意見を述べる機会がない。区政だよりも区民の意見を募集と意見の発表する欄を設けては。
- ・区民が意見を言う場が、どういうふうにあるのかわからない。
- ・区政そのものが区民にあまり知らされていない様に思う。もっと区民に関心を持たせるようにしていけば良いと思います。
- ・此花区の取組がわからない。
- ・今まで区と住民が密接に対話がされていたようにも思われないので。今後は橋下市政の元、互いに協力しあい意見が区政に良く反映されることを期待します。
- ・区がよくなっていく感じを受けないから。
- ・アンケート結果を広報このはなに載せたのは良いことだが、具体的にその結果を活かしているのかといえば、なされていない感じがします。もっと区民の意見をもっとくみ上げるためにも、メールや、手紙などで意見を伝えることができるようにしては、どうでしょう！！私が気がつかず、もうメールや意見を伝えられる場があればごめんなさい。
- ・区政は行政の大きな流れの中で(子ども達の問題・環境・老人の問題等)進んでいる様に思い個々の区民の意見が反映される余地、余力が有るかどうかが疑問です。無いのではないかと思います。地域で意見を出し合う場がない。
- ・区長がだれだか知らないし町内のえらいさんは顔があってもえしゃくだけえしゃくしてもらえただけまだましかあんな誰、どこの人といわれぬのかましかな一

- ・何も変わらないから・・・U S J以外何も活気ある所も魅力もない
- ・続けてほしい企画が予算の都合で無くなってしまうから
- ・自分の周辺に具体的経験が無い
- ・特に自転車マナー、早朝深夜の車の速度取り締まり（大型車）等、交通に関する事が、福島区より行われていない様に思う。
- ・意見等を伝える手段が解らない
- ・此花区民の意見が、区政に、どのように反映されて、区政が改善・推進されて、区民の日常に役立ったか、具体例が無いと思います。区報このはなは目を通して見ます。でも、行政側の行事予定、イベント、行事結果報告等、通常的・慣例的な内容が多いと感じます。区長による“今年はこのように区政をやる！”の方針明示！翌年の新年版には“区政これだけ結果があった、こことここは出来なかった！”と率直に、区民とのコミュニケーションをもつべきです。近々、区長も変わってゆくとか！変化と区政の前進に期待しています。
- ・余りその様な話を聞いた事がないものですから75歳になりますが、近くに友達とか話し相手がないのではっきり解りません。
- ・一方的でつうじてない。行政のいいなり。
- ・市民・住民の意見を議員さんや役所の人がどれだけ聞いているのかわからない。
- ・区民が意見を言う、思っている事を伝える場（機会）がない（少ない）。方法がない（少ない）あったとしても広く知らされていない。気軽に手軽に言える方法がない。
- ・高齢のため意志があっても身が動かない。責任を持ってする人が少ない。交替してください。
- ・区民の民意を取り入れるすべがない。選挙結果はあくまでもその地域の大勢の意見（民意）であり個々の民意を反映しているとは言えない。
- ・区民の意見が、どのような意見が出されているのか、また出されていたとしても、どこを見ればどんな意見等があるのか分からない。なので、反映されていたとしても分からない。「3」じゃなくて「5」ですね。
- ・生活保護者のきちっとした判断がなされていない。本当に必要な人なのかどうか？バスは他地域の様に半額か1カ月定額金額にすべし
- ・区民の意見が、集められていない。区民の意見をどのような方法でつかんでいるのですか。まずはそれを聞きたいです。このアンケートが区民の意見になるのでしょうか。
- ・まず意見がない。平日は仕事で区外に出ているし、休日でも家でのおんぴりか区外にて過ごしている。此花区で生活して5年なので、此花の事をあまり知らない。
- ・区民の意見等が、一部の区民のみの意見と思われてならない。区長が選挙で選べない為、上記の様な状況が続いていると思います。
- ・具体的には言表せないが何となく感じます。
- ・区長さんが区内を歩き声をかけてほしい！顔も名前も知らない！
- ・何がどう反映されているかわからないから。どうすれば反映されていると感じる（知る）事ができるのか教えてほしい。
- ・意見が反映される以前に区政にあまり意見がある人もあまり意見していないと思います。
- ・中学生、高校生のたばこ、マナーの悪さがめだちすぎ。学校等の対応の悪さ、お周り等をきちんとして欲しい。
- ・どう言った意見が出ているのかもわからず反映されていても情報が伝わってないので

- ・区民の方々が、どの様に此花の事を考えているか知る所がないし、意見もわかりません。区の為にいろいろされてると思いますが、仕事の都合で参加する事が出来ないのも、残念です。
- ・区民の意見を発する場所・機会がないと思う。誰に意見を伝えればよいのかわからない。
- ・特定の人たちの意見が反映された区政・イベントが行われていると感じています。
- ・反映されていると思うがどこからその意見を収集しているのかわかりづらい。どこの各種団体から出た意見なのかを公表してほしい。
- ・どこに話を持っていったいいかわからなかった。（最近わかってきたが。）振興町会の存在理由がはっきりわからない。（振興町会についての広報活動が足りない。）振興町会の役員の高齢化と長期化。（住民の意見を聞かず、町会長独自で判断し決済してしまったケースが多い。）此花区に多くの団体や組織があるが、一人でいくつもの団体の役員についているケースが多くある。これはぜひ改善すべきである。
- ・区主催行事は、おおむね自治会単位の行事が計画されており、個人参加ができる行事であっても、その場合、意見交換がなされている様子が無く、どうしても意見集約型の自治会単位の意見が行政担当者にとって手取り早く、合理的と判断しやすい面がみられます。ただし、個人的に積極的で無かったので客観的意見ではなく、思いこみかもしれません。
- ・区民の声を取り上げる機会が少ない。と感じている。区民の声を取り上げる制度やシステムがあるなら、PR不足ではないか！私は具体的に知らない。少しでも区民の声を反映させたい、声を届けたいと思い、このモニターに応募している。以前、大阪市長が此花区に出向き、区民の声を聴くタウンミーティングがチラシで告知されていたが、質問者は町内会で選出された人に限られ、自由に発言は許されないとのことだった。確かに、自由な発言は収拾をつけるのに大変だと思うが、それをしないと、本当の区民（市民）の声は聞けないし、届かない。形式的でポーズだけのタウンミーティングなどは市民は見抜いているのでは、そのようなところから、区民の行政への関心は薄れていく。もっと手間暇かけて本当の声を聴く制度、システムを考えてほしい。
- ・実際は反映されているのかもしれないが、このはなだよりはページ数も少なく書けないのか書く気がないのか、HPもさほど力を入れているようには思えないので、何をしているのか解らない。
- ・島屋の保育園の数が少ない。バス停がない。意見が出すものの、却下されているためです。
- ・何を区民の為にしてくれているかわからない。区民が区政に関心をもっているとも思わない。区民に具体的な意見をもっているとも思わない。
- ・区民の意見を聞いたことがない
- ・区民の声やその対応等が見えてこない。どのような声が揚がっていて、その声に対して、どのように対応や処理したのかを周知できていないのでは？市の広報や区の広報だけでなく、いろいろなメディアや媒体で周知するようお願いします。
- ・意見などをどこに話せばいいのかもわからないし、例え意見があったとしてもその回答などがどこに掲示されているかわからないし、区民の意見をどのように反映しているかの情報が伝わっていないと思います。

【総 評】

今回は、「魅力と活力あるまちづくりと健康福祉の推進について」をテーマとしたアンケート調査を実施しました。

全体を通じて、広範なテーマをアンケート調査したために、今回の調査では、主に傾向をつかむことに主眼をおき、各質問に際しての選択肢は「複数回答」を多用しました。

そのために、「重要度」や「優先順位」を把握するために行う「選択肢」を一つ選ぶ手法は、限られた質問項目だけになりました。

平成 24 年 3 月に実施したアンケート結果を、一つの事実として受け止め、この現況値を参考にしながら、平成 24 年度区政運営に活用していきたいと考えています。

なお、今回の区民モニターの数を決して多くないため、今後、区民モニター数の確保やアンケートによる区民意識調査手法の構築にも取り組むことが課題といえます。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

平成23年度第2回

此花区民モニター質問書

「魅力と活力あるまちづくりと健康福祉の推進について」

注意事項：

- ・ 質問書は必ずモニターご本人で回答してください。
- ・ 回答は口の中に数字をご記入ください。
- ・ 質問書は同封の返信用封筒に入れて3月19日（月）※必着までにお送りください。

此 花 区 役 所

問1 区内で開催されている各種催しや地域活動などの事業に参加したことがありますか。

(1つ選んでください)

1. 参加したことがある
2. 参加したことがない
3. 開催されていることを知らない

.....▶

問2 次の事業のうち、積極的に参加したいと思うものはどれですか。(複数選択可)

1. エンジョイこのはな
2. かえっこバザール・おもちゃ病院
3. 各地域にある生涯学習ルーム講座
4. はぐくみネットの取組み
5. 区内アートの制作やPR
6. 種から育てる地域の花づくり
7. 地域一斉清掃
8. 打ち水行動
9. 絵本「もったいないばあさん」精神を広める活動
10. 参加したいと思うものがない

.....▶

問3 あなたは、此花区が魅力的なまちだと思いますか。(1つ選んでください)

1. 思う
2. 思わない

.....▶

※裏面にも質問があります。

<問4は、問3で「1. 思う」と回答をされた方にお聞きします。>

問4 区民協働による取組みのうち、魅力的だと思う資源はどれですか。（複数選択可）

- 1. 歴史的な建造物や、名所・旧跡
- 2. 壁画アート
- 3. その他（具体的に： _____）

.....▶

--	--	--

問5 環境問題への関心やまちを美しくする意識はありますか。（1つ選んでください）

- 1. とてもある
- 2. 概ねある
- 3. あまりない
- 4. ない

.....▶

--

問6 環境に配慮した取組みで、具体的に実践していること(実践したいこと)は次のうちどれですか。（複数選択可）

- 1. 花などを育てる緑化活動
- 2. ゴーヤなど壁面緑化の取組み
- 3. 「もったいない」精神を広める活動
- 4. 資源回収リサイクル
- 5. 夏場の打ち水
- 6. ドライ型ミスト装置設置の取組み
- 7. 自宅周辺や地域の清掃活動
- 8. その他（具体的に： _____）

.....▶

※右頁に続きます。

問7 あなたは現在、子育て中または子育て支援活動をしていますか。(1つ選んでください)

- 1. 子育て中である
- 2. 子育て支援活動をしている
- 3. 両方している
- 4. 特にしていない

.....▶

--

<問8は、問7で「4. 特にしていない」以外の回答をされた方、全員にお聞きします。>

問8 子育てに関する情報を日常的にどのような方法で入手していますか。(複数選択可)

- 1. 子育て仲間からの口コミ
- 2. 此花区ホームページ(携帯版を含む)
- 3. 此花区子ども・子育てプラザ
- 4. 大阪市メールマガジン「育めーる」
- 5. 区広報紙
- 6. 子育てサロンや子育てグループ
- 7. 各種チラシ
- 8. 市販の子育て雑誌等
- 9. 区役所の保健や子育て支援室の窓口
- 10. その他(具体的に: _____)
- 11. 全く入手していない

.....▶

<問9は、問7で「4. 特にしていない」以外の回答をされた方、全員にお聞きします。>

問9 あなたは日頃、どのような子育て世代の交流の場を利用していますか。(複数選択可)

- 1. 地域での子育てサロン
- 2. 此花区子ども・子育てプラザ
- 3. 子育てサークルや子育てグループ
- 4. 此花図書館での企画(子ども会、絵本の時間、お楽しみ会、読書会など)
- 5. 此花区役所による企画(子育て講座や「えほんの広場によっといで」など)
- 6. 此花区役所2階にある「おひさまルーム」
- 7. その他(具体的に: _____)
- 8. 特に利用していない

.....▶

※裏面にも質問があります。

問10 地域における福祉に関心がありますか。(1つ選んでください)

1. とても関心がある
2. 概ね関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

.....▶

問11 福祉に関して、地域で話し合いや取組みが行われていると思いますか。(1つ選んでください)

1. とても思う
2. 概ね思う
3. あまり思わない
4. 思わない

.....▶

問12 あなたは、ご自身の健康管理に気をつけていますか。(1つ選んでください)

1. とても気をつけている
2. 概ね気をつけている
3. あまり気をつけていない
4. 気をつけていない

.....▶

問13 あなたは、ご自身の健康状態を主にどのような方法で把握していますか。(1つ選んでください)

1. 職場などで定期健康診断を受けている
2. 区保健福祉センターが主催する各種検診(健診)を受けている
3. 人間ドックを利用している
4. 病院等に通院している
5. 把握していない

.....▶

※右頁に続きます。

問14 健康づくりのために、具体的に取り組んでいる(心がけている)ことは何ですか。(複数選択可)

1. 食事バランスに気をつけている
2. ラジオ体操など健康体操を習慣にしている
3. トレーニングジムやプールを利用している
4. ウォーキング(散歩を含む)やジョギングをしている
5. 心の健康のため、生きがいを見つけたり、人との交流を大切にしている
6. 酒やたばこを控えている
7. 歯磨きをしたり、よく噛む習慣をつけている
8. 健康に関する講座や相談を利用している
9. 特に何もしていない



問15 区民の意見等が区政に反映されていると思いますか。(1つ選んでください)

1. とても思う
2. 概ね思う
3. あまり思わない
4. 思わない
5. わからない



--

<問16は、問15で「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答した方のみお答えください。>

問16 なぜ区民の意見等が反映されていないと思うか、具体的にご記入ください。

--